

No. 87

公民館だより

平成4年8月
宮津市字由良
由良の里センター内
由良地区公民館

調和

館長 小室 哲 寛

良識ある社会人として備えていなければならない具体的な資質として、今回は「調和のとれた人」について考えてみたいと思うのである。

調和とはハーモニーである。ハーモニーとは本来、美的な統一とか均斉のとれた状態を意味するものである。

ハーモニーと言えば、古代ギリシャの美術・彫刻を思い起すのであるが、その均斉のとれた、えも言われぬ美の作品は我々の心を強く打つものであり、この美的特色はハーモニーにあると

されているものである。

古代ギリシャは実に巨大な文化の遺産を残しているが、中でも精神の最もすぐれた表現は美術的遺産であり、紀元前四百年も昔の建築である白色大理石造りのオリンピアのゼウス神殿であるとか、ベルガモンのゼウスも実に感嘆するものである。

彫刻においても、西洋彫刻の最初の、しかも最高の表現であるといわれている白色大理石、青銅製の人間の肉体の美と生命の躍動を表現した気品に溢れた

作品が数々発掘されている。弓を射るヘラクレス。欠けた部分に傷々しい運命の女神像。水を運ぶ人等々実に見事な芸術作品である。絵画は少ないが陶器画の素晴らしさと工芸品にも目を引くものがある。その他文学、哲学、音楽、演劇等々に実に驚嘆する程の古代ギリシャ文化が、紀元前四〜五世紀に形成されたのである。

更に驚かされることは古代ギリシャ人は美術のみに限らずこの宇宙そのものが整然とした秩序を保って動いていて更にそれが音楽的に美しいハーモニーを演奏していると感じていたということである。それ故古代ギリシャで教養がある人と言われる為には、人はたゞ智識を頭に詰め込んで持っているというだけでは充分でなく、ハーモニーを感じる素養を備えているということが必要とされたのである。

きて活動している人間に求められたものは、実に知・情・意の調和であったというのである。現代においても人間形成の目標が知・情・意の調和のとれた完成にあると思われるのであるが、洋の東西を問わず、且つ二千数百年の年代を超えて何ら変わることはないことに驚かされるのである。

このことを引用して現代の私達の周囲を見つめてみると、実に様々のことに思い当るのである。

私達も知・徳・体の調和した発達をめざす教育を受けた者ではあるが、今の世相の中で現に囲りの実情はどうであろうか。この三つのバランスの極論に欠けていることが如何に多いことかを痛感するものである。

体は頑健でも知に欠けていたり、知はあっても情に欠けていたり、情はあっても意に欠けていたりといった人が多いのではないだろうか。又惜しむらくは知・

情・意の、いずれもが揃って不足しているのではないかと思われることもあり、慨嘆させられることがしばしばあるのである。

人間形成に知・情・意の調和を欠くことは、その個人だけの問題であって、他人にかゝりがないとも言えないこともない。

しかしながら私達は社会人として社会生活を送る立場に置かれれば、調和性のない思考や言動をすることはいろいろと不都合を招くことになるのである。それは周囲との調和のとれない行為をとるときには、社会生活上好ましくない結果を来すとか、他人に迷惑をかけることになりかねないからである。

例えば混んだ汽車の中で老人や弱々しい人が立っているのに屈強な青年が大きく腕組をして腰かけている。その横には通学生等が座席をカバンで占領して知らぬ顔をしている。何ともこれは調和のとれた光景とは思われないものである。

又会合の中で、皆が会議の趣旨に沿う方向で話を進めたいのは明瞭であるのに方向違いの雰囲気毀しの意見を長々と発言するなど、調和の精神に欠けると言わざるを得ないものである。

更に又大切なお客様の前で、マナーも守らず、ぞんざいな言葉で手前味噌の話を押しつけ、先方を辟易させ、雰囲気の調和を著しく乱すことも度々見聞するところである。

総ての社会生活の中で、調和のとれた思考と行動に心掛けることは社会人として大切なことである。

又環境との調和も重要である。町並みの自然との調和も美しく感じ心とむもであり、街を歩く人達の服装についての調和も人柄を表すものである。

更に人々の心を清らかにする音楽を好み、文字に親しみ、芸術を観賞する心を常に持ち、これら精神を高めるものと調和を保ちたいものである。

そして又人と人との調和、自然、環境との調和等々ある中の根本となるべき、自分の心の中における人間としての知・情・意の調和がとれる人が、私達のためです良識ある社会人と言える人であるのである。

ところで、私達が知・情・意の完全な調和のとれた人間として完成するということは、生涯の課題とも言うべきもので、一朝一夕に出来るものではないかも知れない。

それではどうすればよいかという問題を絞って考えて見ることゝすると、人は誰でも今自分の置かれている環境条件の中だけでならば、その時の考え方や言動を、その場の状況に調和させることは可能である筈である。それには、自分の今の考え方や発言が、この場の状況に調和しているか。又ハイモニーを造り出す上で役立っているのか。等々を自分の胸の中で自問自答し、それから言動を

起すことが心得の先づ第一歩であると思うのである。

古代ギリシャ人がその昔、宇宙の秩序を感じ、音楽的ハイモニーを感じとった教養ある優れた人々とは言っても、それは実はごく少数の一握りの人々にすぎないのである。

ところが現代は遙かに多くのほとんどの人達が高い教育を受け、広い教養を身につけているのである。であるが故に、よりハイモニーに感動し、よりハイモニーを大切にしようと言う人になるには、個々の人の心掛次第で可能であるということであると思うのである。

重ねて申し上げるならば、自分の心の内面における知・情・意の調和のとれた人間形成に常に意を尽して努力することが、良識ある社会人として、今我々に強く求められているものである。

公民館行事報告

主事 山下 清 一

由良岳登山

五月晴れに恵まれた四月二十九日、公民館主催による、由良岳登山が実施されました。

好天のもと、幼児からお年寄まで、遠くは京都からの参加者も交え、七十数名の賑やかな登山となりました。

若葉萌える山道を、うぐいすの囁りに誘われながら三三五五、大きくなった官公造林の杉林では、山風にこころよい涼をとり、マイペースでの登山を楽しみました。頂上から眺める三百六十度の大パノラマは雄大爽快で、かつて、由良小三年生となり初めて頂上を極めたときの感激が懐かしく思い出されました。

この登山も二十一回を数えますが、地区の皆様と一緒に末長

く守り育てたいと思います。毎シーズン、登山道を整備下さっている観光協会の皆様方に、厚くお礼申し上げます。

第四回宮津市地区対抗駅伝競走大会

南部コースで優勝!

総合四位

駅伝日和に六月七日、南部コースは由良小学校から、北部は日ケ谷小をスタートし、一本のタスキに思いを込めて十三地区の選手が、抜きつ抜かれつ熱戦を繰り広げました。

南部コースでは、各チームが精銳を揃えてのレースとなり、各区で好記録が生れる激しいレースとなりました。我が由良チームは練習の成果を十二分に発揮し、四区からトップをキープし、追いつがる栗田チームを振り切

り、昨年失った南部コース優勝の栄冠を三たび我が手中にすることが出来ました。北部チームもよく健闘し総合第四位の好成績で大会を終ることが出来ました。

選手団の皆様には、一ヶ月に亘る練習真にご苦勞様でした。六名の小学生の皆様には、初めての厳しい体験でしたがお互いに励まし合いながらよく耐え抜かれました。この貴重な体験を大切にし将来に繋いで下さるよう切望して止みません。

大会出場にあたり温かいご理解とご協力下さった選手のご家族の皆様を始め、ご支援ご声援下さった地区の皆様には厚くお礼申し上げます。

六月十三日

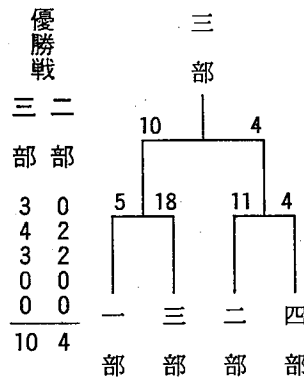
ソフトボール大会

四部対抗女子ソフト

明るい照明に選手の笑顔や真剣なプレーが一層映え、目を見張るようなファイナルプレーを織



りませ好ゲームが展開され、和気藹々の中で楽しいソフトボール大会となりました。
 三部チームが連勝を飾りましたが、今年は各チームとも若い選手の潑刺とした好プレーが観衆の目を引きました。



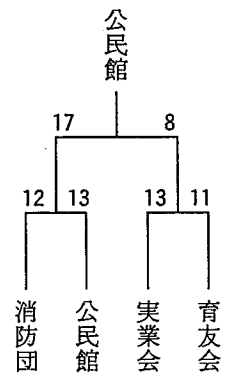
公民館チームが連勝

男子ソフトボール

六月十四日
 女子選手が再三演じた、ファインプレーに刺激され、選手は大張り切りでグラウンド狭しと打球が飛び交う打撃戦となりましたが、公民館チームが乱戦を制し、連勝を遂げました。実業会チームがよく健闘しました。

由良地区公民館役員

平成四年度



優勝戦

公民館	9	0	0	1	7
実業会	1	0	7	0	0
	8				17

運営審議会委員

(順不同敬称略)

- | | | | | | | | | | | |
|--------|-------|-------|-------|---------|---------|-------|--------|-------|--------|------|
| 由良小学校長 | 飯田 和子 | 中西孫兵衛 | 小室 哲寛 | 酒田 治 | 岸田 六郎 | 藤本 孝一 | 山下伊左衛門 | 小松 忠衛 | 四方 寿朗 | 岸田 剛 |
| 脇自治会長 | 有田憲太郎 | 市議会議員 | 港自治会長 | 下石浦自治会長 | 上石浦自治会長 | 市議会議員 | 前公民館長 | 学識経験者 | 小学校友会長 | |
| 宮本自治会長 | | | | | | | | | | |

中学校育友会長

升田 栄二

婦人会長

山田 暢子

老友会長

中西吉之助

子供会連絡協議会議長

野間 寿彦

職員

公民館長

小室 哲寛

主事

山下 清一

分館長

脇 松林威佐雄

宮本 孝

港 山口 正憲

濱野路 中西 孝

下石浦 山田 常治

上石浦 野村 孝行

幹事 文化部

部長

森川耕一郎

副部长

奥野 彰

中井 浩彦

竹田 茂

榊田 益一

中西 清治

田中 一雄

岸田 博司

酒田 清

新宮 鶴雄

山下 良一

山田 暢子

川崎 静代

体育部

部長

矢野 善記

副部长

浜崎 利雄

玉垣 泰子

前畑 澄男

中西 隆光

山元 久紀

田中 昭彦

岸田 国彦

山田 忠雄

岸田 剛

岸田 秀樹

糸井 久枝

大石 陽子

木谷 照子

上田 町子

野村 マスエ

藤本 光代

文化部

小谷 一郎

体育部

小室 文雄

瀬戸野吉也

北野 薫

岸田 剛

中西 俊夫

平成四年度
由良地区公民館事業計画

体育部

- 由良岳登山 4月29日
- ニュースポーツフェスティバル 5月24日
- 宮津市地区対抗駅伝競争大会 6月7日
- 地区対抗女子ソフトボール大会 6月13日
- 団体対抗男子ソフトボール大会 6月14日
- みやびビーチバレー(92) 7月5日
- 球技大会(野球・ソフト) 8月14日
- 市民駅伝競争大会 11月1日
- 市民卓球大会 11月29日
- 市民綱引大会 12月6日
- 一般男女
- バレーボール大会 2月7日
- フィットネス・スポーツ教室 毎月第二水曜日

文化部

- 盆踊り大会 8月14日
- 文化祭(婦人会と共催)
- 同和学習会 11月8日
- 囲碁大会 1月17日
- 自治学級 2月7日
- 文化財保存会(史跡めぐり等) 2月14日
- 歴史の館ネットワーク事業 随時
- 公民館だより発行4・8・12月 各種サークル育成 年間
- 各種サークル発表会 随時
- 生涯学習講演会 随時



ごあいさし

由良幼稚園長
由良小学校長

飯田和子

潮の香を運んでくれる浜風に髪をなびかせ、由良ヶ岳にかかると霞に時のうつろいを覚えて、由良の地へ赴任してより四年目を迎えました。本年四月より、はからずも校(園)長という大役をいただき、職員一同、子ども達の幸せのために努力しなければと、決意も新たに微力ではありますがありますが頑張っております。皆様方の御協力の程、よろしくお願ひ致します。

本年度は、教育元年と呼ばれることがあります。それは、明治以来の教育についての考えを大きく変える節目の年でもあるからです。

まず第一に、学力についての考え方が変わりました。これまでは、知識・理解を重視してきました。その結果、日本の子ども

もの学力は、世界に誇るものがありますが、その一方で、つめ込み教育だと批判されるようになったきました。このことをふまえて、子どもの関心・意欲・態度をおもんじるようになってきました。子どもが、自ら学ぼうとする力をつけてやり、伸ばしてやるのが大切なのです。

第二に、学校週五日制のことです。子どもが、家庭や地域社会で生活する時間を、これまで以上に多くして、子どもの主体的な生活を一層充実させ、望ましい人間形成を図ることをねらいにしています。

今の世の中の変化は、めまぐるしいものがあります。その変化する社会に対応し、二十一世紀を生きぬいていく子ども達に必要な資質や能力は何かと考え

るとき、知識偏重ではなく「変化する社会において心豊かに、主体的に生きることのできる人間の育成」を基本的なねらいとしてうちだされてきました。

このような人間の育成は、学校だけで出来るものではありません。家庭や地域社会と一体となって、それぞれの教育機能を十分発揮することによって始めて実現するものです。前述したような新しい学校教育によって身につけた資質や能力は、子どもが自由に使えるように確保された時間を生かし、家庭や地域社会において、遊びや自然体験・社会体験・生活体験などの豊かな体験を通して子ども一人ひとりの良さや可能性を伸ばすことによって深められ根づいていくものと思われまます。

九月から、全国的に第二土曜日、学校は休みの日となります。本校でも、この学校週五日制実施にむけて、いろいろと取り組みを進めて参りました。授

業時数の確保や授業改善など、一人ひとりの児童の学力を伸ばすための努力、保護者に趣旨を理解していただき、協力を得るための話やアンケートを実施しました。その結果、殆んど子どもは、家庭において、しっかりと受け止めていただき、有意義な月一回の土曜日を過ごせるだろうと予測しております。

由良地区の皆様方におかれまして、この新しい教育の流れをご理解いただき、地域に育つ子として、暖かくみまもってやっていただき、いろいろな体験を子ども達が出来ますよう、ご協力の程、よろしく願います。尚、小学校では、長年の懸案だった体育館の床修理と、きれいな水が使える水道工事、それに壁ぬりかえを夏休み中にしていただくことになりました。今後、体育館を利用していただく方は、専用の体育館シューズを用意していただきますようお願いいたします。これは、すべらなく

なった床を保護するためです。こままでに、こぎつけることの出来ましたのも、地区の皆様のご協力のおかげです。感謝の気持ちでいっぱいです。今後共

よろしく願います。近況を報告させていただいてごあいさつにかえさせていただきます。

水槽の中の一匹のめだか

由良婦人会長 山 田 暢 子

「婦人会」とは？ 私は、今回ほど「婦人会」に脅威を感じたことがない。由良に嫁ぎ、「家役」だからと特別な感慨も持たず平々凡々と、実に出の抜けた一会員でしかなかったのですから……。

私如きが、婦人会の会長という重責を果たせよう筈のないことを、会員の皆さんは十分承知の上での選挙、右に倣えの今回の選挙形態は無情である。辞退の言葉も受け付けて貰えず、青天の霹靂の私に、自分自身に無関係となれば、人も又、無情で

ある。しかし、御託の繰り返しは、ご一緒する新役員の方々に、ご迷惑を掛けるばかりでなく、大人げないとの反省もし、「また板の上の鯉」の心境。

「暢子さんのカラーで、いきなさいよ」このひと言の何と嬉しかったことか。「無情」と背中合わせにある「有情」を感じる。そして今、会員の皆さんの心からのご協力を得、役員の方々にもしっかりと支えていただいている現況、感謝の気持ちでいっぱいである。

会員数―百六十名の由良婦人

会も、子育て真最中のお母さん、
 家業・農業に専念の主婦、後の
 殆どは勤めを持った会員さん達
 の集団である。皆が忙しい！
 この理由付けから、従来の役員
 の任期二年制を、今年度より一
 年交替へと組み直す必要が生じ、
 その矢面に立たされたのが私で
 ある。皆さん！ 笑っていられ
 るのも今のうちですぞ！

来年は、この私も広い水槽に
 放たれたためだかの群れの中の、
 只の一匹となり、体型の浮力を
 大いに利用し、悠々平泳ぎと、
 シャレたいものである。

明治時代、女権運動から婦人
 会を起し、戦時中は、婦人会の
 結束を持って戦争に参加させら
 れてきた(？)道程を経て今が
 ある。婦人会も、会員もその時
 代々々を、様々に変化させなが
 らも、しっかりと根付いてきて
 いる。組織を通じ、社会を見つ
 め勉強し、婦人像を高めつつ、
 今後はボランティア運動を盛ん
 にする方向で婦人会は成されて

いくのではないか、そんな気が
 する。しかし、婦人会の基本は
 飽く迄も、友だちの輪(和)づ
 くりにあると自認して止まない。
 どうせ由良に住むのなら、自分
 の囲りに心地良い友人がいっぱ

いな方がいい、そして、それは
 地域づくりにもつながる。……
 などと、仲間づくりを提唱し、
 誰もが経験する「役員！」、皆
 で支え合う「婦人会！」にと願
 うばかりである。

女子ソフトボール 大会に参加して

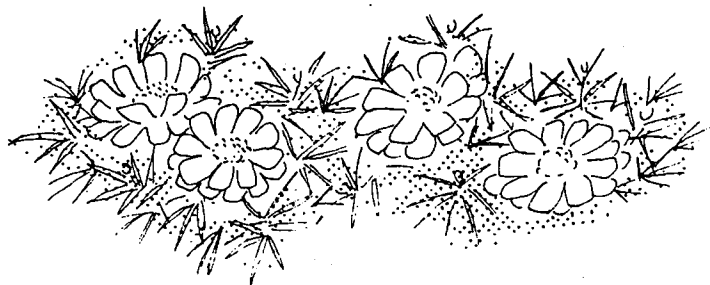
大 森 京 子

昨年、ナイターの設備が完成
 されたのを機会に、地区対抗女
 子ソフトボール大会が始まりま
 した。今年も六月十三日に第二
 回大会が行われ熱戦が展開され
 ました。毎年の男子、さなぶり
 ソフトボール大会を見て女子の
 試合もあればいいと思っていた
 私には、願ってもないこの大会
 でした。各地区選手を集めるの
 に、大変苦労をしておられる様
 子、役員さんには、ほんとにお
 世話になりました。

男の人がソフトボールを気軽
 に楽しむのと違い女子ソフトボ
 ルは普段あまりやりませんので、
 試合の方も、ワンサイドゲーム
 になったりしましたが、好プレー
 も多く、楽しい大会でした。外
 野席からの応援も的を得た声援
 で笑わせ試合を盛り上げていた
 だきました。

昨年うぶ声をあげたこの大会
 が二回、第三回と続き、冬のバ
 レーボール大会、初夏のソフト
 ボール大会と二つの女性スポー

ツイベントになればなどと考え
 ております。
 後になりましたが、役員さん、
 体育部員の方々には、早くより
 準備、その他いろいろとお世話
 をいただきありがとうございます
 でした。選手の皆さん、おつかれ
 さまでした。



宮津婦人スポーツ フェスティバル

糸井久枝

六月二十一日、宮津市婦人スポーツフェスティバルが島崎グランドで盛大に開催されました。

その日はあいにくの曇空でどんよりとした肌寒い気候でしたが、千名近くの女性パワーがその雲を押し上げ雨のない一日となりました。

今年は例年よりも婦人スポーツフェスティバルが早く実施された為に宮津の中部地区、西部地区の出場者がしぼれず不参加となり結局八ブロックで競う事となりました。

又去る七日にも府のスポーツフェスティバルが城陽市で開かれ由良婦人会も二十五名が参加した後なので会員の方が参加してくれるかどうか心配して居り

ましたが九十余名の人達が出場して大いにこの大会を盛り上げてくれました。

私達由良ブロックのカラーはピンクです。そのピンクのリボンに風になびかせながら来賓の方々の前を堂々と行進する選手団に拍手と声援を送りながら「今年はいよいよとしてカップをえが一瞬頭の中をかすめました。

競技種目「我が家のマイカー」では小さな三輪車に、身体を二つ折れにしてこぐ姿。

「七十八人の美脚」五人が一つの長い下駄を履き七人と十五人がそれぞれ一本のひもで足をくくって、^{イチニ}、^{イチニ}と大きなかけ声をかけあい呼吸を合わせ

て走る姿。

「ジャンボ縄とび」は一本の縄をひっかけない様にと真剣にジャンプする姿。

「わたしたち五〇〇歳」は最終種目の障害リレーで一つのポールを持って走ったりほうきで掃きながら走ったり……と本当に最後まで白熱した接戦の連続でした。

残念ながら由良ブロックは、入賞は出来なかったけれど、七十八人の美脚では一位、ジャンボ縄とびでは最高賞を取る等、会員さんの活躍には目を見張るものがありました。

さわやかな汗をかいた一日でした。

今年で六回目と回を重ねてきた宮津市婦人スポーツフェスティバルですが少々マンネリ化してきていや気がするなんて声もちらほら聞かれます。

がしかし宮津市の婦人が一堂に集まって婦人相互の連携と親睦を深め又由良婦人会にとって

も会員同志が一つの目的に向ってチーム作りをしていく上にも年に一度のスポーツフェスティバルはぜひ続けてほしいものと願って居ります。



中学育友会活動

中学育友会長 升 田 栄 一

育友会活動を考える時、急激な社会変化、あふれる情報化社会の中で、子供達をとり巻く

環境には、めまぐるしいものが感じられます。我々会員も戸惑いは隠せないところが多々有ります。

そんな中での親として、人間としての質的向上を目指し、積極的な育友会活動が必要な時であろうと感じています。

人々の交流や連帯感が次第に希薄化し、伝統的集団から離脱化への加速が問い糺されている今日、育友会活動も地味な活動であるが為に、マンネリ化し希薄化を隠せない所もあります。

そんな状況で、二十一世紀に向けての子供達づくりを考えると、家庭、学校、地域社会の連携こ

そが、今一番考えて行く時期にきています。

たまたま今年度、二学期から月一度の学校五日制の導入を機に、行く行くは完全五日制へと移行、変革されようとしている中、その様な意味合いもあり、

会員相互の学習する場といった事を取り入れ、忘れかけようとしている、家庭、学校、地域社会に対して見方を、新たに考えたりでき、いゝ意味で刺激となっているのではないのでしょうか。

親が学習する、また親の勉強会、親睦会と言っても主力が母親に限られてしまう所は残念であります。然し各家庭におかれましては、家中で話す機会をもってもらっていると思っております。

皆んなで考えてもらってこそ

五日制の有効な活用がされ、ゆとりある生活がお互いに生まれ来て、主体的に生きる力が身に付いて来るものと思えます。

昭和の考え方から、平成への考え方への変換を図らなければならぬ時が来ている事は言うまでもなく、今こそ大人社会が率先して見直しを計り、襟を正し、協力をしてやって行かなければならない時ではないでしょうか。

その他活動の中に、京都府PTA活動の一環で「豊かな心を育てるPTA地域活動」と言った、活動事業にも取り組んでおり、各地域で色々と未来の子供達への願いを込めた取り組みをも展開しており、今年度は秋に

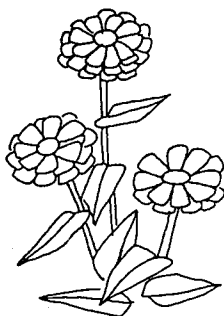
「親と子のあれあいフェスティバル」と言った事業計画活動を市教委との協賛で取り組んでおります。又多数の参加をお願いすると共に、思い出として残る様な一日を楽しんでもらいたく

願っております。

これからの子供達づくりは、育友会が一生懸命になり活動の輪を広げる中で、第三の『子育て人』のご支援を求め、子供達に家庭、学校では学べない生活体験、豊かな社会性、創造性を身に付けさせると言う重要な課題があると思えます。

尚、地域に開かれた学校づくりに参加させて頂く為に、育友会での役割を果さなければならぬ事を感じております。

最後になりましたが、地域の皆様方には常日頃多大な御支援、御協力を願っております事を感謝致しております。今後共、二十一世紀を担う、たくましく心豊かな子供達を育てる為に、変らぬ協力をお願い致します。



子供会連絡協議会活動

子供会連絡協議会々々長 野 間 寿 彦

組織役員・諸先輩・皆様方の御指導で今日まで築き上げてこられた由良地区子供会、今回このような大役をおおせつかり私が一番当惑している次第です。

私が育った時代とは異なり現代の子供達の育つ環境は著しく変化し複雑になり、世の中が急速な進歩をしている中、子供達の指導にもなかなか対応が難しく重大さを感じております。

【社会参加活動】

地域活動でも私達が先輩から受け継いだ遊びは、子供の頃自分達で工夫し、考え、外で遊ぶことが多く又子供同志のつながりも多かった昔と比べ、今の子供の現状はどうなっているのか。生活環境や考え方、現実を知ったうえで、子供会を運営してい

くことが大切である。

子供達が家庭や学校で体験出来ないことを、身につけ、育成していくことが子供会を発展させていくことになると思う。

今の子供には遊びが大切であり、昔から言われる「よく学びよく遊べ」に反して今の子供は体を使って遊ばない子供が多い。

【家庭教育】

家庭におけるしつけの中でも親が子供に対して家庭の役割について理解と認識を深めて親子のつながりを密にして温かい家庭づくりが必要だと思います。

子供の数が減った今日ではないかにして子供達が感動し、喜んでもらえるか、魅力ある活動が出来ればと願いながらも、毎日の忙しさに大人のゆとりのなさを

を痛感しています。

子供の育成の大先輩である、地域の皆様の御指導をいただき

一緒に子供達を育てていけたらと思います。何卒よろしくお願ひします。

ソフトバレーボール 大会に出場して

中 西 きく代

健康の増進と体力作りを目的として盛んになってきたニュースポーツ(ソフトバレーボール・ショートテニス・グラウンドゴルフ・ペタンク等)に関心を深める為、スポーツフェスティバル

が五月二十四日(日)宮津市で開催されました。そのうちのひとつ市民体育館でソフトバレーボールに由良は二チームが出場しました。

コートは少し小さめでボールはバレーボールを一廻り大きくした柔らかなもので、一チーム、四人でラリーポイント制、十五点先取の六人制バレーボールの

ルールで行なわれます。出場チームは十二チーム、AゾーンからDゾーン迄四ブロックに分かれブロックごとの優勝チームが、準決勝、決勝へとコマを進めます。

由良AチームはDゾーンで優勝し、四ブロックの優勝チームと準決勝でストレート勝ち。でも決勝で力尽き負けて二位に終わりましたが心地よい汗をかいて家路に着きました。

私も月一回公民館が主催で行なわれているフィットネススポーツに時々出席させてもらってソフトバレーボールもおそわりま

した。生涯スポーツが叫ばれて
いる昨今皆さんも自分に合った
スポーツを親しみ健康の保持増
進に努めてみてはいかがですか。

学校教育から家庭・地域教育へ

由良幼・小育友会会長 岸 田 剛

由良地区の皆様方には、常日
頃より子供の教育につきまして
何かとお世話になり大変ありが
たく感謝しています。今後共、
変わらぬ御協力、御支援を御願
い致します。さて、本年九月よ
り実施されます学校週五日制が
問題になっていますが、これは、
子供の生活リズムにゆとりを与
え、より豊かな生活体験・活動
体験を提供する契機となるもの
であり、この事は、発達段階に
応じて、子供が遊びや各種の活
動を自ら選択し、創意工夫しな
がら取り組むことなどにより子
供の自発性・自主性を育む機会
が拡大するという点でも大きな
意義を持っています。

また、近年、社会一般におい
て週休二日制の定着が進む傾向
にあり、このような中で学校週
五日制が実施された場合には、
子供の土曜日の午前中の過ごし
方の変化だけでなく、大人を含
めた家庭に、二日間の連続する
休日という生活リズムをもたら
すようになってくる。この事に
よって生活ゆとりの確保、休日
を活用した活動の実践など、家
族や子供にとって行動の選択の
幅が広がってくると考えられま
す。

考える必要があると同時に、他
方において、地域、学校、社会
一般にわたる積極的な対応や関
係施策の推進を通じ、子供の学
校外での活動が活発に行われる
ための環境が整えられていくこ
とが一層大切になってくると考
えられます。

そこで、これらの内容をふま
え、由良幼少育友会でも「育て
よう！心豊かなたくましい子
供」をテーマに、「家庭〇〇の
日」を提唱し、子供にゆとりあ
る生活をさせ、自立制を育て、
親子のふれあいの時間を増やし、
家族揃って地域活動、スポーツ、
ボランティア活動等に、積極的
参加により、これまで、学校だ
けの学習から、家庭や地域の人々
のふれあいの中で、人間関係を
豊かにする学習への取組につい
て、推進するところですが、学
校・家庭だけの取組では成し得
ないことであり、地域一体とし
た取組推進にご協力を御願ひ致
します。

「家庭〇〇の日」について〇
〇の日選定については、家族全
体での協議において選定し、決
して無理な内容、又押し付けは
しない。

【例】テレビを見ない日・読書
の日・家族一緒に夕食を
食べる日・その日に起こつ
たことを話し合う日・家
族一緒にごみ拾いの日・
朝起きの日・早寝の日等

一度、皆様のご家庭でも、
「家庭〇〇の日」の実践をお願
いします。



ソフトボール大会

山田 忠雄

今年の空梅雨を予見したよう
なさわやかな夜空の下、去る六
月十三日に四部対抗女子ソフト
ボール大会、六月十四日に団体
対抗男子ソフトボール大会がナ
イターで行われました。

男子の団体対抗は、育友会、
実業会、消防団、公民館の四チ
ームです。

この大会は毎年お盆に行われ
ます四部対抗の野球、ソフトボ
ール大会に比べ、女子の参加も有
り大変華やかなものとなっております。
しかし、男子の中には
三つの団体に所属しておられる
方も有り、選手の振り分けには
苦労されているようです。

私は公民館の一員として昨年
に引き続き二回目の参加でした
が、何と今年はお母ちゃん

んが参加するではありませんか。

そもそも私が公民館の一員と
して大会準備に關つては、手前
選手が少ない四部地区で選手集
めに苦労されている役員さんに
「うちのお母ちゃんでもよかつた
ら補欠にでもしておいて下さい」
とお願ひしたのがまちがいのも
とでした。

女子の試合は土曜日の夕方六
時からでしたので、もしかした
ら試合に出るかもしれないと思
い夕方四時に仕事をほったらか
して帰宅し、我家の隣の空地で
特訓を開始しました。

幸いにも隣の空地は雑草と石
ころで絶好の練習場です。

ゴロの練習をすればボールがあ
つちこつちとイレギュラーし
て、とてもうちのお母ちゃん

はグローブにかすりもしません。

それでも延々十分の特訓の成
果がでたのは何度かグローブに
さわるではありませんか。

「まあ、こんなもんやろ。小
学校のグラウンドやったら平らや
しなるとかなるやろ」となぐさ
めを言いつつ練習を切り上げま
した。

いよいよ試合開始です。四部
は守りからでした。私が三塁の
審判として所定の位置につきま
すと何とうちのお母ちゃんが三
塁を守っているではありません
か。「おまえなあ、何を考えと
んのや。外野や外野や。」と言
いつつ他の人に三塁を代わって
もらい何とかレフトの守備につ
かせました。

これでひと安心とほっとして
いると何とレフトにボールが飛
んでくるではありませんか。

「オーイ、いったぞー」と叫
びつつ「何とか後ろにだけはボ
ールをそらすなよ」と心の中で祈
りながらボールの行方を見ます

とボールは親心ならぬ夫心を無
視して予想通り外野を転々とこ
ろがっているではありませんか。

「今のはしゃあない。バウン
ドが変わったさかい、そやけど
今度からは体で止めえよな」と
はげましながらも心の中では
「やっぱり出すんやなかった。
これやったら自分がエラーした
方が何ぼか気が楽や」と思いつ
つ何とか試合は終了しました。

前日のお母ちゃんの珍プレー
の影響からか翌日の私は三振を
二つもするは、守ってはハッス
ルしすぎて回転レシーブに失敗
して、体中すり傷だらけと散々
でした。

来年もしも夫婦でこの大会に
参加させていただけるならせめ
て十分ではなしに一時間は特訓
をして今年の汚名挽回を図ろう
とお母ちゃんと二人で反省して
いる次第であります。

永久なる命

藤本史代

上流の雨を運びて量増せば川面は鈍き光ためいる

流木を浮き沈ませて濁流はせめぎ合いつつ海におちゆく

濁流をのみつつ夕べとなる海を茜に染める大き落日

昏れゆけば海も安けき響きして自浄のリズム闇にとけゆく

ゆつたりと濁りのみゆく海原のはては浄土の標とならむ

太古より止まることを知らざれば川は永久なる命を持つか

雪の夜の静寂のなかにも止まらぬ川は流動のふしぎを持てり

河底に夜は眠れる魚あらむこの静寂を幸いとして

人の世の暮しの芥浮かばせて抗いもなくたゆとう水は

流るると見えぬ川面の静寂を水鳥翔ちて束の間乱す

健康いろはカルタ 21

四方寿朗

め 明治生れの意気のみよ

女八十二歳、男七十六歳。現

在日本人の平均寿命は世界一を
続けているが、将来はどうだか。

何故なら今の子供は大切な時期

に過保護、飽食、偏食、運動不
足。昔の子供は貧しかったが故

に厳しい環境の中で、親と共に

必死で生きて来た。これが自然
の理にならなっていた。生きるこ

とは何かを生活の中で学ぶことが

出来た。不幸にも今の子供には
それが無い。平成の現在こそ、

是非明治を見習いたいものだ。

み 緑の野菜が毒を消す

癌の発病を押える物質が多く
の野菜に含まれている。或る実

験によると、サトイモの茎、カ

リフラワー、レタス、アズキ、

パセリ、シュンギク、カボチャ、

タマネギ、レンコン、シヨウガ、

ミョウガ、青ジソ、ゴマ、ゴボ

ウ、ナガイモ、ニンジン、セロ

リ、タケノコの皮、ターサイ、

ワケギ、ユリネ、ミツバ、キャ

ベツ、ダイコン、アオネギ等。

要するにいろいろな野菜を食べ
ることだ。

し 塩辛い物で地獄ゆき

恐ろしい脳出血や脳梗塞の原
因となる高血圧の予防や治療に

は、一日の食塩摂取量を十グラ

ム以下に押える必要がある。そ
れには材料の持味を生かす。汁

物や漬物を減らす。酢、レモン

香辛料、減塩しょう油を上手に

使うなど調理の工夫が大切だ。
又うす味に慣れること。外食は

塩分が多いので要注意。一般に

成人病の予防には、薬よりも日

常生活での各自の摂制が何より
大切である。

ニユースポーツフェスティバル

『グラウンドゴルフ』参加所感

岸 田 博 司

平成四年五月二十四日(日)
午後、晴、宮津の島崎グラウンド
において実施されたニユースポ
ーツ「グラウンドゴルフ」に参加す
る。

その時、感じた愚感をとりと
めもなく述べさせていだきた
いと思います。

参加したチーム数は、全部で
十三チームでした。

由良からは、申込みは三チ
ームでしたが、当日は、宮津市地
区対抗駅伝のコース試走と重な
り、又、その他諸般の事情によ
り、結局一チームのみの参加と
なったようです。

「グラウンドゴルフ」はゴルフ
とゲートボールを合わせたよう
なスポーツで、人生八十年時代

と云われるようになった昨今、

年齢にこだわることなく、誰に
でも気軽に実施でき、楽しみな
がら身体を動かすことにより、
健康の保持と体力の維持を図る

ことを目的とするスポーツで、
最近盛んになってきたため、新
しいスポーツと云われている種
目の一つです。

午後一時半、開会式。

午後二時、いよいよ競技開始
です。

わが由良チームは、小生のほ
か、公民館主催のフィットネス
クラブで練習したことのある、
若くて美しい女性のひさん、と
Oさん、の三人ベアーです。い
づれも、経験が浅く、ルールも
覚えたばかりの初心者(素人)

ばかりです。

順位の決定は、チームの人員
数三人の合計打数が少ないチ
ームを上位とする。と開会式で説
明がありました。勝負にこだ
わっていないは肩がこるし、楽し
めない。

何はともあれ、今日はフェス
ティバル(お祭り)への参加で
ある。『気楽にやりましょう』
と声かけ合って競技に臨んだ。

狭いグラウンドに十三チームの
メンバー、合計三十九名が入り
乱れて競技するわけであるから
他チームの邪魔にならないよう
にプレイする方がむずかしい。

第一自分の思うところへボー
ル(タマ)を打てる程テクニッ
クは上達していない。

打ったタマがどこへ飛んで行
くか判らないからこそ面白い、
というわけです。

お互いに他チームの邪魔をし
合いながら、お互いに『ゴメン、
ゴメン』と謝り合いながら、又
自分の技量の未熟さや失敗は、

笑ってごまかしながら、時の過
ぎゆくのを忘れ、知らぬ間に一
時間半が過ぎ、午後三時半、競
技終了となった。競技実施の途
中、小雨がばらついたが、夢中
で競技していたため、さほど気
にならず、愉快で楽しい半日を
過ごすことができ、又健康的で有
意義な半日を過ごすことができた
と思っております。

由良チームの競技の結果は、
こだわりをすてて試合に臨んだ
ことが功を奏し、一点差で第四
位だったということでした。が
参加することができなかったゲー
トボールのチームが参加してい
たなら、さぞ好成績で入賞して
いたであろうと推察され、残念
に思っております。

参加前に聞いた、下馬評では
「グラウンドゴルフ」の参加者は
年寄りの男性が多い、と云うこ
とでしたが、今回の参加者は若
い女性が多く(約三分の二は女
性)年齢的にも四十歳から五十
歳台の人が多かったように見う

けられたが、いずれの方々も、皆元気で若々しく潑刺としており、目に輝きがあつて、笑顔がそれぞれ个性的で美しかったのが印象的でした。

愚感として「ニュースポーツフェスティバル」に参加して、よかつたと思うことがもう一つあります。それは多くの人と知り合いになれたということです。知人が増えたということでは、

競技を通じて、今まで面識のなかつた宮津や須津やその他の地区の方々を知り合うことができ、ヒューマン・ネットワークを広げることができ、本当によかつたと思つております。

この人達との出会いとネットワークを大切にしていきたいと思つております。

ニュースポーツの効用としては、手、足、腰を動かすことにより、老化を防止することになり、身体的に健康となり、精神的にもストレスを解消し、若さを保つことができ、健全な精神

を養うことができると思ひます。

特に「グラウンドゴルフ」は、気軽に、しかも簡単に実施することのできるスポーツであり、年をとつても継続して実施することができ、生涯スポーツとして、最適と考えられます。

スポーツと云うよりは「遊び」に近い「ゲーム」と思われます。「グラウンドゴルフはよい遊び、ゲートボールやゴルフより、ずっと、ずっと面白い」と云うのが、グラウンドゴルフに参加して感じた実感です。

グラウンドゴルフを、まだ一度もやつたことのない人は、毎月第二水曜日の夕方七時半過ぎに由良小学校のグラウンドに来て、一度プレイしてみませんか。

必ず、グラウンドゴルフのとりことなることでしょう。

フィットネスクラブのメンバーが、新しいグラウンドゴルフの道具を準備して、あなたのお越しを待つております。

そして、来年も、再来年も実

施されるであろう、ニュースポーツフェスティバルに、一緒に参

加して楽しむものではありません。

駅伝競走大会に出場して

藤 本 寛 之

ピストルの音とともに、十一人の選手が一斉にスタートしました。ぼくは、言われていたように、グラウンド二周半は、六番目ぐらいで走つて、道路にでると先頭について行きました。走る前は、体がだるかつたので、むりをしないように、気を付けて走りました。

ど、ぬけなくて、二位で磯田さんにタスキをわたしました。ぼくがこれだけ走れたのも、一ヶ月前から、毎晩、津田さんや磯田さんやみんなに、教えてもらいながら、一生懸命に、練習をしたからだと思ひます。日曜日には、試走をさせてもらつたり、月曜日には、ナイターでグラウンドを、一緒に走つてもらつたから、最初は、七分八秒だった、タイムも、大会の日には、五十秒ぐらいちぢめられてよかつたです。

協の公民館の辺りから少しずつペースを上げながら走りました。

後ろを見ると、三位の人は、もう後の方でした。

残り百メートルで、真剣に走つて、一位になつたけど、相手も速くてぬかれました。ぬきかえそうとがんばつたけれど、

それから、道路の両側に立つて、応援してくださいました。のおかげで、よく走れたと思ひます。

みんながんばって、南部コースは優勝出来たし、今度の駅伝に出場できたことは、本当に、

貴重な体験になりました。一生、忘れられない思い出になりました。

りの自分のペースで走りました。もう九区が見えてきてラストスパートをかけました。一位でも

らって一位のままわたせて、本当によかったです。駅伝大会の選手に、選ばれてよかったです。

地区対抗駅伝競走大会

坂下 哲哉

「ああ、疲れた」

毎日、駅伝大会のために練習をしてきました。毎日、二、三kmぐらい走りました。次の日は、かならずぐらい足が、痛くなっただけ、大会のため、練習になるべく行って、がんばりました。あと十日、あと九日と、頭に入れないながら走っていました。練習を、続けていくうちに、ちょっとずつタイムが、速くなっていました。

試走の日、走ってみただけ、あまりいいタイムが出ませんでした。もっと、速くなりたかったので、その日から三km走って何とか走れるようになりました。

いつも、「足がだるい」と言っていたが、ぼくは走るのが、好きなので、それでも練習に行きました。

大会当日、もうドキドキがとまりませんでした。輸送用のバスで、八区に行きました。そのへんを、アップしました。「もうそろそろ時間やで、集まりなさい」と言われて、どこが一番でくるとかなと思っていたら、由良でした。タスキをわたされ、このまま一位を、守りぬくぞと思いがら、真剣で走りました。

途中、後ろをふり向いてもだれもいません、でもできるかぎ

「いつてきまーす」

毎日、七時半からは駅伝の練習でした。私は、初めてなのでちょっとびり心配でした。

夜は、日中とくらべて温度は低かったけど、少し走ってくるすとすぐあつくまりました。

「小学生は今日は三キロ」と津田のおっちゃんと言われました。私は、えー三キロも。橋立マラソンと同じきよりやと思えました。

駅伝大会が近づいてくると、自信がついてきました。でも日ごろあまり走っていなかったの

で、足がいたくなってきました。毎日、毎日がんばって練習を重ねて、いよいよ明日が駅伝大会となった夜、ドキドキしてすぐには寝れませんでした。当日は、あつくもなく、さむくもない、駅伝大会日よりになりました。開会式もすみ、いよいよです。ちゃんと体そうもして、じゅんび完了です。ドキドキしながら、いそ田のおっちゃんからタスキをもらって真けんんに走りました。前の人とは、五、六メートルぐらい差があいていました。よしぬかすぞと思つてスピードを少しあげたけど、えらくなつてしまいました。半分くらい行った時、

「英実がんばれ」
とお父さんと、お母さんがおう
えんしてくれました。見ていた
くん田の人たちも、
「あっあれ由良や。がんばれ」

木村流大正琴・浜野路教室

中西悦子

と手をたたいてくれました。無
事タスキを次の人にわたせれて
ホットしました。南部コースは
一位になれてうれしかったです。

演奏の美しさは、やはり、み
んなが心一つにして一曲一曲
を完奏することになると、思い
ます。
還暦を過ぎた私にとって、若

い方々のいろいろな活動の話
聞かせていたゞいたり、大正琴
の練習とともに楽しいひととき
を過ごさせていたゞいておりま
す。

趣味とサークル活動を通じて

山田常治

大正琴浜野路教室から、公民
館だよりに投稿を、と依頼を受
けたのですが、一番なまけ者の
私が、と思うと恥ずかしいよう
だし、頑張れ！と云われてい
る様でもあるし、とまどってし
まいました。

私は、「おさらい会」に出席で
きませんでしたので、他の教室
の多くの方々の演奏を聞けなく
て、とても残念で仕方がありま
せんでした。

趣味は私達、各自に、与えら
れた特権ではないでしょうか。
又その特権を活かし、自由に楽
しみ、活動するのが趣味ではな
いでしょうか。なにかと日頃は、
仕事と生活に追われる日々のな
かで、先ずは何を成すにも健康
第一です。

境遇のなかで、見出すのが趣
味ではないでしょうか。
選択は個々の自由です。何処
へ行っても人間社会です。趣味
を通じて人間関係が生まれ、人
の輪が広がります。そこから事
が始まり自分を磨き、楽しみ、
自己の余生を謳歌させたいもの
です。

「大正琴を習ってみませんか」
とおさそいを受け習いはじめて、
丁度一年になります。その間に
「おさらい会」があり、みん
なが一心に練習をし、びたっと
呼吸の合った美しい旋律は、何
とも云えぬ「大正ロマン」を感
じさせてくれる様に思いました。

テレビ等で大正琴の演奏をし
ていられるのを聞いていると、
音色の美しさに引き込まれ、す
ばらしいな。がんばらなけれ
ば」とその時は思うのですが、
稽古日まで大正琴のケースの蓋
は閉じたまゝ。当日は楽譜を見
て弾くがやると、途中抜けたリ
間違ったり……、仲間の方々に
申しわけなく思っているのです。

慌ただしい現代の、環境の中
で、一日仕事を終え、子育てを
終え、ふと我に返る時誰しも余
生を考えるのではないでしょ
うか。物が溢れ恵まれた現代の今
日、恵まれないのが心の寄りど
ころではないでしょうか。その

幸い公民館サークル活動の一
貫文化部サークル体育部サーク
ルがごさいます。年齢体力に叶っ
た趣味を求め、無理なくリタイ
ヤしないよう生涯趣味マラソン
に参加したいものです。

週一回二時間の寸暇をサークル活動で、腹の底から声を出し、日頃の諸々の「ストレス」を洗い流して心身の健康の一助にさ

れては如何ですか。新入会員を歓迎お待ちしております。
(神心流詩吟同好会由良教場)

郷土に於ける澤井市造翁(二)

作 中西 孫兵衛 (先々代)

由良の歴史をさぐる会 四方 寿 朗

翌十六歳に伯父なる森本重五郎が与謝郡岩滝村小室家四五百石積船長なるを頼み轉乗せしが其の初めは處女の如く従順なりも漸次に脱兎の勢を現はし長を凌ぎ先輩を侮るの風を生じ眼中家庭なきものゝ如し拾八九歳に至る頃徐々義父の苦言は始まり時是れ帰航の節些の土産全なきが故にて宵越しの銭は遣はぬてふ江戸児肌の氣風なれば随て得れば随て散じ貯金なんか区々たる小心を敢てする風なき君なれば土産金何為れぞあり得べき其

後は一二年も帰村せざる事もあり郷信全く絶えし事もあり其故は伯父たる人は多く北海道を華客とし延て越後出羽等の諸港への航路を営業して丹後には大なる営業関係なきこそ驕心満々たる君に取りては却て幸とこそ思ひしならん斯の如き家庭は追々温情の度を低めたれども外に継ぐべき子とはなく是非市造君を以て世代を継がせる積なれば打捨て置くべきにもあらじとて其當時与謝郡加悦町門屋の持船に乗組める松下岸田三九郎氏に

頼み一度帰村させる手段を講じ明治四年七月下旬廿二歳の時岸田氏乗組船に便乗して帰り良久は自宅にて農業に従事されぬ私の朋友として肝胆相照す交情を結びしは実に此時にありき尤も幼年青年時代は只年少者弱者として愛撫せらるゝのみにて年が五つも違へば朋友には殆んど兄弟の如きより外なく交際等は不可能なればなり伯父の船に乗組中は随分伯父の物を吾儘勝手に使用したる話もありき扱五郎兵衛夫婦本家伯父其他の親類の者共市造君には困じ果て挺でも棒でも行かずとて持て餘し居就中本家の叔父は頗る知能の秀でたる辨難に長けたる一種の人物にて一時本村を威圧せし程の人なるにも屈せばこそ此人の苦言は馬耳東風と聞流し辞して門を出づるや長舌をペロりと出すといふ大胆者はり一方小室の伯母は自身が幼時より鞠育せし市造なればよきにつれあしきにつれ一挙一動痛切に感動せしといふ始

末なりき市造君曾て予に語て曰く本家の伯父は僕に本家即ち自身の跡目を相続させんと勤めたり又たらしたり威したり種々手を換え品を換え時は理屈もならべ或は手段を講じたり流石の僕も実に閉口したよ先づ考へて見給へ本家に相続者なき時は分家より出て是を継ぐといふ事は一応通理ある様なれども僕が身は五郎兵衛分家なりとは言へ義理ある親あり又家督から見るとは本家は氣儘に生活が出来る家なり僕の家は左にあらず果して伯父の意に随ふ暁には親の義理を棄て推勢に趨く食欲なる男となる訳なりナアニ僕も一個の男子だ奮発せば自己独立の生活の出来ん筈はないのだから伯父の言葉は断じて聞かんのだ由良に居れば五月蠅くてたまらん又は皆僕を目して道楽者よ雲助よと冷罵を浴びせるか「へん燕雀何ぞ鴻鶴の志を知らん」だと呵々豪笑止せり

果して市造君の語りたるが事実なりとせば澤井長兵衛氏が市造氏が道楽最中に於て前途大に為すあるの人才たるを達見せられて相続を為さんとせる遠謀の眼識には今に至つて歎賞禁ずる能はざるなり

又も飄然として国を去り其後の越後新潟の三印の船に而も濱野路忠兵衛内與兵衛杯同気相索る乱暴先生等と打揃ふて乗組たる事もありとぞ該船は千石積近き大船なりと聞けど是は一二ヶ年より多くはある筈なし

北海道にて持船を拵え破船の難に罹りた話又陸上に於て君が怪腕を揮ひ活動せし話其他各地方殊に台湾等に於て飛躍発展せし話は耳熟する処なりと雖も其順序経過を審にせざればなまじい筆を執り其全貌を疵くる恐もあれば態と筆を省きぬとし重に故郷に因める事のみ書綴るになん明治拾四年 廿二日伯父森本重五郎氏暴風雨に逢ひ船と共に荘内河口に沈没せしとの凶報に

接したる仙太郎氏の驚愕悲歎直に彼地へ馳せ下り跡仕末に一ヶ年を要し翌十五年暮に帰国さる其當時市造氏は事業失敗にて困難の折柄なれば兎に角一度帰国さるゝ話にはなりたれども困憊其極に達せしかば身の廻り旅費等一切仙太郎氏より支給し同行にて帰国さる英雄も亦た時機を得ざれば如何とも仕難く屠所の羊のそれならで轆轤落莫の情君が迂来得意成功の時代より此觀せば実に今昔の感を生ぜしむべし君が此時代には青年時代とは趣を異にし言語に動作に老成の域に達し言論明晰拳止端然泰山前に崩るゝも治蛟後に迫るも從容自若大に心胆を練磨せる物の如く正に是れ蛟龍の池中に潜み空しく風雲の来り会せんを俟つに異ならず此頃よりして囲碁の手聞きを仙太郎氏に受けたるが偶々以て鬱勃たる雄心を抑ゆるの其に供したるに止まらんか懐

いふべし 悩の情こそ察するに餘りありと

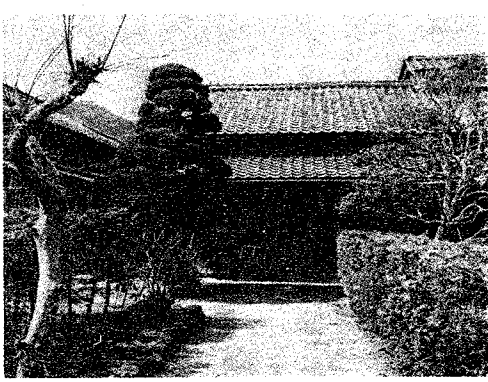
茲に一大難件の親戚の内に横たはれるあり他にあらず小室末蔵氏の家なり此事件たる明治三十年十月に起りたるものにして元来末蔵氏は商運強き人にて其營業として百石積の船を持ち米穀物類を積廻し賣買せり妻たるいよなる人は氣略に富める男勝りにて一朝商機熟せりと見れば東奔西走して買附を為し夫は之を商ひしが常に商略其図に當り大に富饒を来せり中途營業を轉し積みたる資金を以て貸金をせしが悲い哉居住地字の人々へ数拾口の貸金停滯となり遂に訴訟を提起する事となりぬ此當時訴訟には村役人の奥書を要する時代此故に其手續を出願したり是れ難件の発端にて問題数岐に涉り其結果同年九月二十八日字地より絶交を申込まれ種々なる葛藤を生じ容易に解決に至らず私は該事件に対しては敢て黑白正邪を判するを辞す

市造君閑逸なりといへども容易に動かず従容として時機の至る

を待つものゝ如し沈思熟慮聽て見込をつけ着手するや数十通の貸金証書を出させ応答辨難流石に結びて解びざる難件を苦もな

く処決せり其状殆んと快刀乱麻を断つが如き手腕を現はせり事餘の処置は澤井彌蔵氏に旨を含め貳拾老年十月二十八日同氏挨拶に入り一件目出度調和したり

【註】文中のママの振仮名は、例えば門屋とあるのは明かに問屋の間違いと思われるが、原本のママ門と記すの意(四方記)



川柳

宮津番傘川柳会

沖へ出てこんな静かな風に逢う

テトラポットに妥協はしない波の音

竹の子の根性遮二無二土を割る

スランプの霧が晴れない曲り角

外灯のぬくもりツバメ泊らせる

おぼえ書きカードならべて三才児

償いの糸十字架に絡みつく

老春のファイト火中の栗拾う

大森 美智子

田村 キヌエ

磯田 栄

飯沢 鳴窓



編集後記

○図書ご寄贈の御礼

小西平右衛門氏より、ご奇特な心をもって以前から次々と図書のご寄贈を賜っておりましたが今回で三百冊となりました。

そのご厚意に対し深く感謝し御礼申し上げます。

○公民館だより八七号の編集を致しておりながら、こんなに数多くの方々から、多方面よりご支援下さっておりますことをつくづく有難く存じております。

小学生の皆さんから、駅伝競走の出場の感想をお寄せ下さり、練習はつらかったけれども、として、優勝に輝いた喜びの如実に、心とむものがあります。

随想、短歌、川柳にも感慨深いものがあり嬉しく存じます。

希くはこの公民館だよりが広く地区の方々の心の通う共通の広場として生まれんことを祈って止みません。

(小室記)